

進路だより No.3



平成23年5月25日発行

～「あしなが奨学金」予約募集のご案内～

応募できる方

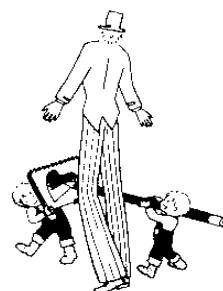
中学3年生で、高等学校または高等専門学校に進学を希望していて、教育費に困っている家庭のうち、次に該当する生徒。

- ・ 保護者（父または母）が、病気や災害（道路における交通事故を除く）もしくは自死（自殺）などで死亡した生徒
- ・ 上記が原因で著しい後遺障害を負い、教育費に困っている家庭の子供
- ・

募集人員

約1,500人（有資格者全員採用）。

この奨学金は高校在学中の生徒を対象にした奨学生在学募集も行っていますが、その採用数は予約採用者の人数によって制限されることがありますので、予約募集に出願される方が有利です。



「あしなが奨学金」パンフレットより抜粋

また、「交通遺児育英会」による奨学金制度もあります。

詳しくは、担任か、進路担当、神戸にお尋ねください。

テストの結果に、偏差値が記載されます

今回のテストの結果から、偏差値を記載します。偏差値とは、「検査の結果が集団の平均値からどの程度へだたっているかを数値で示したもの」です。したがって、平均点ぐらいの点であれば、偏差値は50となります。また、全体のテストの出来具合によっても偏差値は変わります。

例えば、平均点が35点だったテストで、95点の点数をとると、偏差値は70近くになるでしょう。ところが、平均点が80点だったテストで95点をとると、偏差値は60もいかないかもしれません。このように、検査を受ける集団によって、また、その出来具合によって偏差値は変動するものです。

しかし、だいたい毎年、坂下中学校全体の学力は大差がないので、先輩たちの結果と比較しやすいということがあります。

また、自分はどの教科に力があり、どの教科が弱いのか、分かりやすい数字でもあります。今まで、平均点が記載されていた箇所に個人の偏差値を記載しますので、確認してください。

推薦入試について知ろう

入学試験の制度もありよく知らないのに、ましてや推薦入試って何？…という声が聞こえそうですね。

実は、上級学校の入学試験には、私立の学校にも公立の学校にも一般入試と推薦入試の2つのパターンがあります。

一般入試は、調査書(つまり、中学校での成績や生活のようす)と一般入学試験日当日の学力試験の結果の2本立てで合否が決まる入試で、中学3年生では、卒業できる見込みの生徒なら、希望すれば誰にでも受験資格があります。

推薦入試は、調査書と、推薦入学試験日当日の学力試験の結果と、そして特に人物の3つを考慮して合否が決まる入試です。この入試は、中学3年生の内、卒業できる見込みの生徒で、かつ、坂下中学校長に推薦された生徒が受けることができます。つまり、推薦入試の受験資格は坂中の生徒として「まじめにがんばっている」人ということになります。

では、「まじめにがんばっている」とは、どんなことでしょうか。何も、人より優れたものが必要というわけではありません。

一番は、きちんと学校生活ができる生徒であるということです。例えば、

- ・ 時間を守る(朝の登校時刻・授業の始まりの着席等)
- ・ きまりを守る(頭髮・服装など身の回りのこと・授業や学校生活等の集団生活に関わること)
- ・ 欠席日数(上級学校の授業は意欲と体力勝負。中学校で遅刻欠席が多い生徒は敬遠される。)
- ・ 誠実である(責任感の強さ・まじめな勉強や丁寧な仕事ぶり等・好感の持てる人柄)

これらのことが、きちんとできていればよいのですから、それほど難しいことはありません。

自分を人間として少しずつ高めようと日々努力している人は、だんだん人間としてあたりまえのことをあたりまえにできる人(学校の中なら、きちんと学校生活が送れる人)になっていくはずです。だから、

きちんと学校生活ができる人＝自分を人間として高めようと努力している真っ最中の人⇒推薦に値する人

という式が成り立ち、推薦のポイントが、「人物(＝その人の行動や考え方)」重視になるのです。少し大げさですが、推薦をもらうということは、もらうその人が坂中そのものを表すことになるのですから当然ですね。

今は全く推薦を考えていない人でも、入試が近くなって、よく考えたら推薦を希望したいという人が毎年出てきます。今回の進路だよりでお伝えしたいことは、「そのときのためにもしっかりやりましょう」ということではありません。「人物」は人間性そのものを表しているわけですから、人としてとても大切な価値の1つといえます。だから「進路があるからしっかりやろう」などという打算的な人間になってはいけません。推薦を希望しようがしまいが、人としての生き方は変わらないはずです。

きちんと学校生活を送っている人が上級学校進学を選んだとき、受験方法の選択肢の1つに推薦入試があります！ということです。後になって、「知らなかった…」ではいけないので、説明しました。

なお、公立高校の推薦は、上の条件に加え、

「他の生徒の模範となっていること」

が第2の条件になりますのでより厳しいものとなります。



*** 明日は進路説明会です。座席はお子さんの隣の席に指定させていただきます。よろしくお願いします。**

**国公立でも私立でも
上級学校の入試には
2つの受け方があるよ！**

入学試験

一般入試

推薦入試